

十日町地域消防本部発行

消防だより



火の用心



松之山地域総合防災訓練



No.57

平成19年7月10日号

火災が多発しています！ 火の取扱いには気をつけましょう



十日町地域広域事務組合
消防長 江村 久

このたび十日町地域広域事務組合の消防長兼事務局長を拝命し、責任の重さに身の引き締まる思いです。

私はこれまで4年間、消防署長を勤めさせていただきました。この間、様々な経験をいたしました。が、中越大震災、2年続きの豪雪、捜索、大規模な火災など、対応に際しましては消防団の皆様、そして地域の皆様には大変ご協力いただき、改めて感謝申し上げます。

さて、今年は例年を上回る勢いで火災が発生しています。幸いにも死者を伴う火災はありませんが、不名誉な結果に対して消防本部・署、消防団は連日のように予防広報活動を展開しています。

「ちよっとした不注意!」「多分大丈夫だろう!」などの過信から、ほとんどの火災が起こっていることを考えると、火災の大部分

は防げることになりました。とにかく「火の用心」なんです。

また、全国各地で大規模な自然災害などが発生し、そして悲惨な事件も連日のように報道され、何か別の世界で生活しているような錯覚さえ感じるのは私だけでしょうか。

雪の美しさ、春の新緑、秋の紅葉と当地域の春夏秋冬は、美しい環境下にあります。この環境に相応しい、平和で安全な地域であって欲しいと思いますが、生活環境の変化から当地域における災害も、多種多様となっております。

特に高齢化の進展など、救急需要は年々増加し、求められる消防サービスの質・量ともに大きく変貌いたしました。

新潟県消防防災航空隊との連携など、近代的な対応はもちろんですが、過酷な人的災害対応もまた現実であります。

これら様々な災害に対応できるよう、日常の教育訓練を通じ、地域の皆様から信頼される消防として、職員ともども精進する覚悟でありますので、今後とも益々のご支援、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。



備え 万全! 松之山地域総合防災訓練終了

6月24日(日)、松之山地域で「震度6強の直下型地震」が発生したとの想定で、総合防災訓練が行われました。

松之山全域にサイレンが吹鳴され、各家庭ではガスの元栓締め、電気ブレーカーの切断等を行い、それぞれの地区毎に決められた一時避難所へ集結。避難状況の情報伝達訓練が各地区で実施されている中、主会場の松之山温泉スキー場駐車場に災害対策本部が設置され訓練が開始されました。

訓練は消防団員の誘導のもと、会場に集結した住民による、各種体験訓練(消火器取り扱い訓練、バケツリレーによる消火訓練、救急法訓練等)、消防団員による土の積み工法、シート張り工法などを整然と実施。その後、十日町市消防団松之山方面隊の消防大会へと移行し、林野火災消火訓練では、生コン車・散水車から補給水を受けての中継放水や、可搬式散水装置隊による消火、更には新潟県消防防災航空隊による逃げ遅れ者救出訓練などが行われ、最後は松之山方面隊全団員による「人員姿勢・服装の点検」で、すべての訓練を終了しました。

今回の防災訓練は、16項目に及ぶ訓練でしたが、何よりも松里地

区自主防災組織の住民70名に及ぶ約500名という多くの住民が参加、大変内容のある防災訓練となりました。

訓練に参加した50歳代の女性は「とても大掛かりの訓練でびっくりしました。消火器の体験や救急法など、実際に触れる機会があったし、何より地域住民がこれだけ参加したことが素晴らしいことだ」と訓練の成果を語っていました。

松里地区は一昨年、天水越の大規模土砂災害を経験しており、地域住民の各種訓練に参加する真剣な姿は、防災意識の高さを感じさせるものでした。

起きて欲しくない災害ですが、日頃からの備えはとて大切ですね。

▼子供達も頑張ったバケツリレー

の消火訓練!



つけて安心！ 住宅用火災警報器

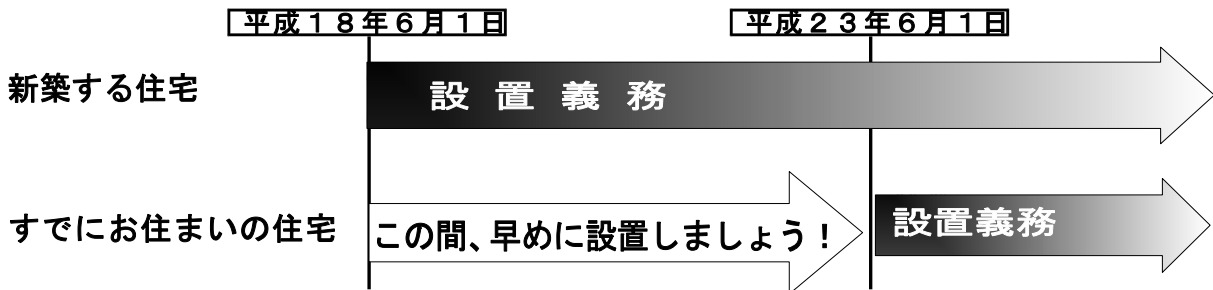


火災は早期発見が重要！

火災が発生したとき、目で煙や炎をみたり、耳でパチパチという音を聞いたりと五感によって気づくことがほとんどです。しかし、それだけでは、就寝中や仕切られた部屋で物事に集中しているときなどには、火災に気づくのが遅れてしまいます。そこで、家庭内での火災の発生をいち早くキャッチし、警報ブザーや音声によって知らせる装置が**住宅用火災警報器**です。火災による被害から身を守るためにも、早期に設置するようにしましょう。

火災の早期発見にとっても有効な住宅用火災警報器！！

十日町地域消防本部管内では、火災予防条例により以下のとおり設置することになっています。



家のどこに取り付けられればいいの？

火災警報器の基本的な取り付け場所は、少なくとも**寝室**と、**寝室が2階などの場合は階段**にも設置が必要とされています。取り付け位置は原則として天井または壁に取り付けます。3階への取り付けなど、詳しくは下記に問合せください。



問い合わせ先！

- 十日町地域消防本部
予防課予防係（直通）
025-757-1557
- 住宅用火災警報器相談室
（フリーダイヤル）
0120-565-911

消防本部では、住宅用火災警報器を直接販売することも、販売を業者に委託することも行っていません。悪質な訪問販売には十分ご注意ください。





▲分列行進で点検を受ける女性消防団員

◆十日町方面隊◆ 春季消防演習



▼初の水出しポンプ操作で気合も入ります！



平成19年度十日町市消防団十日町方面隊の春季消防演習が、6月10日(日)、信濃川水辺の楽校「つまりっ子ひろば」で、消防職員、団員約1,050人が参加し行われました。

今年の消防演習は、昨年十日町市消防団に採用された、女性消防団員が花を添える中、演習恒例のポンプ操作も、初めての水出し操作(今までは放水を仮定)が行わ

れるなど、内容のある消防演習となりました。また、女性消防団員によるAED(自動体外式除細動器)を使った心肺蘇生法訓練も合わせて行われ、来賓や多数の団員から大きな拍手を受けていました。演習に参加した消防職、団員は“忘れた頃にやってくる災害”に備え、真剣に取り組む姿が印象的でした。

▼大勢の前での心肺蘇生法、緊張しました！



瑞宝双光章

消防功労

廣田宏太郎さんは昭和26年、旧田沢村消防団員を拝命。以来34年間、消防団活動に従事、団長職を10年間歴任し、昭和60年に退団。永年にわたり、消防団業務に従事した功労で叙勲に輝きました。

「34年間を振り返ると、様々なことがありました。昭和59年2月の豪雪による清津峡の雪崩災害や、貝野中学校の火災など思い出します。今は、ばあちゃんとい人で畑に行き、近所の仲間と世間話をするのが何よりの楽しみです」と語ってくれました。

廣田さん、どうぞこれからも健康に留意され、ご活躍ください。おめでとございました。



廣田宏太郎さん ミサホさん
(十日町市千溝)

叙勲おめでとうございます

瑞宝単光章

危険業務従事



丸山武男さん イツさん
(十日町市城之古東町)

丸山武男さんは昭和39年に消防吏員を拝命。平成12年に退職するまで、35年の永きにわたり消防活動に尽力され、この春、危険業務従事者叙勲に輝きました。

「激動の35年間であり、過ぎてみればアツという間の35年間でした。職場の同僚や、家族の支えがあったからこそその受章だと思っています。できるだけ長く、若手の仕事(自営業)を、健康で手伝えることが目標です」と話されています。

普段は好きな演歌や懐メロを聞き、たまには二人でカラオケに行くこともあるそうです。丸山さん、おめでとうございます。



—早い 出動のために—
「火災・救急・救助」の通報は 119番で!



新消防指令システムにより119番入電時、瞬時に現場を特定し、状況を確認しながら出動指令が可能となりました。
災害時には分署・分遣所への通報ではなく、十日町地域消防本部に直接つながる119番をご利用ください。

普通救命講習会のご案内

開催日	場 所	時 間	募集人員	申込み先電話番号
7月22日	十日町地域消防本部	9:00~12:00	30人	025-757-0119 (消防本部)
7月29日	十日町地域消防本部	9:00~12:00	30人	025-757-0119 (消防本部)
8月4日	南分署	9:00~12:00	30人	025-765-2480 (南分署)
11月9日	十日町地域消防本部	18:30~21:30	30人	025-757-0119 (消防本部)
11月18日	松代支所	9:00~12:00	10人	025-597-2310 (松代分遣所)
11月25日	松之山自然休養村センター	9:00~12:00	30人	025-596-2330 (松之山分遣所)

※各講習とも定員になり次第、申込みを終了いたします。

がんばる消防士

7月4日(水)新潟市で行われた新潟県救助技術大会ロープブリッジ渡過部門に出場した佐藤利昭消防士(南分署)が見事優勝し、東京で開催される全国大会に出場します。当消防本部では11年ぶりの快挙であり、健闘が期待されます。



★ロープブリッジ渡過とは?
ロープを水平に20m展張し、往路は「セーラー渡り」、復路は「モンキー渡り」ですばやく往復する。消防の基本救助技術。

がんばる消防団

8月5日(日)佐渡市で行われる新潟県消防大会ポンプ操法競技会に向け猛練習中です。どうぞご声援を!



- 指揮者 中村 竜太
- 1番員 小堀 寿幸
- 2番員 小堀公美晴
- 3番員 小堀 国彦
- 補助員 高橋 武治
- 補員 小堀 貴也
- 補員 高橋 清隆
- 補員 池田 星児
- 補員 池田 正人

松代方面隊第3分団

close human

人・クローズアップ



十日町市消防団本部
団員 阿部正子さん(十日町市北原)

ヒューマンクローズアップ、今回は昨年十日町市消防団で、初の女性消防団員になった阿部正子さんからお話をお聞きしました。



■女性消防団員になったきっかけは？

母親が同級生の消防団員(楮澤分団長)から誘いを受け、父親(元消防団員)に相談したところ「自分がやれると思ったら、やってみては！」といわれ、高い志もなしに軽い気持ちでヒョイツ?と入りました。私の家族は結構、放任主義でやりたいならば、やればという感じでした。

■女性消防団員になって思うことがあったら。

今まで消防団といえば「熱血ドラマの男の世界?」というイメージが強く、入団すると規律が厳しく、腕立て伏せをさせられたり、へまをすると、怒鳴られたり、殴られたりするのかと思っていました。(そりゃーない!)

今回、一緒に入った人たちには

主婦がいたり、普通の勤め人がいたり、みんな気さくない人で安心しました。

まだ消防団員としての自覚などあまりないかもしれませんが、階級章の付いた制服を身にまとうと背筋がピツと伸びる思いです。

何も考えずに入団したけれど、今は入ってよかったと思っっていますね。

■これからどんなことを?

まだ1年しか経っていないのでたいした活動はできませんが、男性の職員や団員にできない、ソフト面の仕事をやればと考えています。お年寄りの家を火災予防に伺うとか、現場活動ではなく、予防的な仕事は私たちにも結構できると思います。

今はまだ消防本部や、団幹部の指導の元で訓練をやっています。が、徐々に自分達で活動計画ができればいいなあと思っています。



ロープ結索訓練に励む阿部さん。



冒頭の松之山地域防災訓練や、ポンプ操法訓練等が日夜行われ、消防団が様々な場面で活躍しています。消防団員の熱い眼差しを見る度に、とても頼もしく、心強く感じています。そんな中、もうひとつの熱い眼差しが、連日私たちにも注がれています。それは、消防署の見学で訪れる小学生からの眼差しです。社会科の勉強で、消防の仕事を知り、来たる児童達は、皆、首からノートを提げて、食い入るように質問をしてくれます。一番多い質問は「火事がない時は何をしていますか?」

『消防は災害現場で活躍する表の部分とそれに対応する地道な訓練や、災害を起こさないためのデスクワークという裏の部分があって...』と模範解答を並べると時間が足りないの、分かりやすく私は一言。『備えることが大事なんだよ!』小さい子からお年寄りまで参加した防災訓練もまた「備え」。人間は「備え」があると安心する生き物です。「備え」は万全ですか?



◆災害出動件数◆

H19.1.1~6.30まで

火災	29件(25)
焼死者	0人(0)
救急	1,198件(1,218)
救助	20件(32)

※()内は前年同期の件数です

発行 十日町地域消防本部

〒948-0036 十日町市北新田1番地10 TEL(025)757-0119 FAX(025)757-8499
E-mail:fire119@mall.tiara.or.jp URL http://www.tiara.or.jp/~fire119/index.html